

奈良鉄道時刻表・線路図

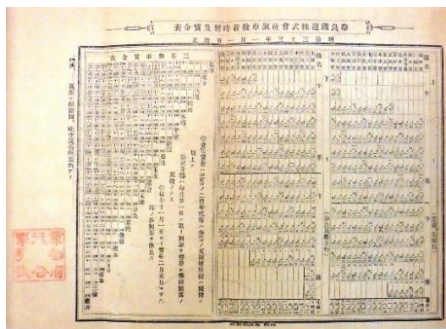
J R 西日本の奈良線は、前身に当たる奈良鉄道の京都駅—奈良駅間の開通から、今年で 120 年目を迎えます。奈良鉄道は、1889 年（明治 22）に会社が設立され、1895 年（明治 28）から部分的に開業し、1896 年（明治 29）4 月に京都駅—奈良駅間が全通しました。1899 年（明治 32）10 月には、桜井駅まで延長されています。その後、1905 年（明治 38）に関西鉄道に引き渡され、1907 年（明治 40）に国有化されました。開業当初の奈良鉄道の京都駅—桃山駅間は、現在の近畿日本鉄道京都線の京都駅—近鉄丹波橋駅の経路を通り、J R 奈良線の桃山駅に繋がる路線です。現在の J R 奈良線の京都駅—桃山駅間は、1879 年（明治 12）から敷設された官設鉄道（現在の東海道線）の京都駅—馬場駅（膳所）間の路線の一部を、1921 年（大正 10）に東山トンネル・新逢坂山トンネルを通る新線の開通後に引き継ぎ、桃山駅方面に繋いだものです。

京都府行政文書の「皇太子殿下・同妃殿下啓二係ル一件」（明 33-0039）は、皇太子嘉仁（よしひと）親王殿下（後の大正天皇）が 1900 年（明治 33）に三重・京都・奈良に行啓した時の記録です。この年 5 月 10 日、皇太子は九条節子（さだこ）と結婚し、5 月 23 日から 6 月 2 日まで伊勢神宮、神武天皇陵、孝明天皇陵など皇室の祖先神にその報告に来ました（当初予定より 2 日間延長）。

その一件書類に、参考資料として綴じられているのが、明治 33 年 1 月 1 日改正の奈良鉄道時刻表・線路図です。5 月 27 日付けで奈良鉄道から京都府行啓事務係宛てに提出されたもので、「京都府行啓事務掛」印が押されています。皇太子御夫妻は翌 5 月 28 日に奈良鉄道の汽車に乗車

しました。行政文書に書かれた行動予定時間と時刻表を比較すると、奈良鉄道の京都駅から大阪鉄道の畝傍駅までは「別仕立汽車」（臨時列車）で往復したことが窺えます。なお、沿線の各郡の郡長へは通過の際に停車場で迎送をするように通知が出されています（拍手などせずに静粛にするようにとの追記もあります）。

時刻表は表面に時刻表と乗車賃金表が、裏面に線路図と社寺名所案内が記されています。この時刻表の特徴としては、24時間表記でなく、午前と午後に分かれています。距離は哩（マイル）表記です。乗車賃は三等料金で、一等はその二倍半、二等は五割増しとあります。また、東寺駅は毎月21日（弘法さんの縁日）限りの臨時駅であると書かれています。線路図には奈良鉄道が朱線で印刷してあり、加茂駅から大仏駅を通過して奈良駅に向かう関西鉄道の路線（明治40年に廃止された大仏鉄道と呼ばれる区間）も見られます。名所には高倉宮以仁王（もちひとおう）が討たれた高倉宮（木津川市所在）などの旧跡が記されています。



奈良鉄道時刻表



奈良鉄道路線図

(2016年5月15日公開)